

農山漁村振興への貢献活動に係る取組証明書

実施者 ホロバイオ株式会社

取組概要

取組名 : 次世代プロバイオティクス技術による『福島の水を守り育てる』漁業創成プロジェクト
実施地域 : 福島県いわき市
アクティビティ種別 : ②6 その他（地域の新たな生業の創出）
取組形態 : 直接的貢献
取組実施日・期間 : 2025 年 1 月～

取組詳細

取組の目的・ 解決したい課題	福島県の漁業は震災からの復興途上にある一方、近年の気候変動による海洋環境の変化により県漁連組合員一人当たりの平均漁獲量は震災前の 16 t に対して 6 t（2025 年）と大きく落ち込み、組合員数も震災前の 1,608 人から 1,089 人へと大きく減少するなど、漁獲漁業の深刻な衰退が危惧されている。 本取組は、ホロバイオが開発した「次世代プロバイオティクス技術」（魚類由来の有用な機能性腸内細菌を複数混合した『機能性腸内細菌カクテル』を養殖魚へ投与することで、腸内細菌叢を最適化し、成長促進や免疫機能向上等の効果を発揮する技術）を活用し、地域の漁業者とともに地域ゆかりの特産魚を陸上養殖で生産、販売するものである。減少した海での漁獲量を陸での育成により回復することにより「海の力を守り育てる漁業」を実現し、新たな産業を創出して若い世代を地域に呼び込むことで、漁業従事者数の維持・拡大を目指す。
インプット	✓ 養殖設備の導入：10 t 水槽 2 基、付帯設備 ✓ 人員の派遣：2 人月 ✓ 稚魚、飼料の購入
アクティビティ	✓ 2026 年 8 月から、「次世代プロバイオティクス技術」を活用した飼育ノウハウの確立を目指し、福島県ゆかりの高級魚「ホシガレイ」の試験飼育を開始。 ✓ 高級ホテルチェーンや水産商社・小売店への販路形成及び実績に基づく収支計画の策定を行い、事業モデルを構築。
今後の展望	✓ 機能性腸内細菌カクテルを用いたホシガレイの養殖を実装することで、まずは福島県でホシガレイの陸上養殖システムを確立し、地元漁業者の小規模陸上養殖への参入を支援する。その後、福島県で得た知見をもとに、日本全国の様々な魚種で、漁港周辺の遊休施設を活用した小規模陸上養殖モデルを展開し、地方漁村の活性化を図る。